

旅行英語はこれだけで十分!

『厳選英単語200』

English words

これだけ覚えれば
旅行で困ることは
ない!

海外旅行に
行きたいあなたへ

場面別に
単語を解説

聞いたことがあるからすぐに使える単語集

昔学校の教科書で学んだ頃より 世界の英語はずいぶん進化しました

サチンです。

動画レッスン①の感想を送って頂き
ありがとうございます。

このテキスト教材は、私が教える
グロービッシュがいかにシンプルか？
という点をご理解いただくために
作成しました。

今、英語はどんどん進化しています。

英語は今や世界の共通語ですが、
その中で非ネイティブでも
スピーディに会話ができるように、
どんどんシンプル化されているのです。

その潮流から生まれたのがグロービッシュです。

グロービッシュは**1500語**だけで
あらゆる日常会話に対応できる新しい英語です。

表現もシンプルで使いやすいため、今世界各国でどんどん広がり、シンプル英語による会話を楽しむ人が増えています。



ここだけ聞くと、「そんな不完全な英語で大丈夫なの?」「ネイティブにはちゃんと通じるの?」「私はそんなカタコト英語なんか話したくない」と誤解される方がたまにいらっしゃるのですが、安心してください。

グロービッシュは決して、「カタコト英語」なんかではありませんん。恐らく普通に聞いたら、ネイティブ英語とあまり違いは分からないと思います。

そのあたりは実感を伴ってご理解いただくために、さまざまな国の人たちが話す英語が聞けるリスニング用ビデオ『世界のグロービッシュ』という視聴者特典もご提供していますので、ぜひそちらもご覧ください。

[視聴するにはこちらをクリック↓↓↓](#)

視聴者プレゼント1

世界の多様な英語を聞き分ける
リスニング用ビデオ教材
『世界のグロービッシュ』



日本は残念ながら、世界的にも「英語が苦手な国」と思われてしまっています。

何度か紹介している通り、毎年英語ランキングを発表しているEFエデュケーションファースト社によれば、2019年の日本の英語ランキングは100か国中53位。そして残念なことに2020年はさらにランクを下げ、55位でした。

年々下がっているという評価は、とても悔しいですね。私自身、日本を愛する一人としてとても悔しく思っています。

なぜこんな結果なのか？なぜ日本の英語は一向に良くなっていないのだろう？長年の研究の結果、

「日本人の英語下手」の正体

これが次第にハッキリと見えてきました。

これについては詳しくは[本編レッスン①](#)のほうで話していますのでここでは簡単にしか書きませんが、まず言えるのは日本には英語に対して自信のない方が多いですね。

「外国人と向き合うだけで緊張してしまう…」

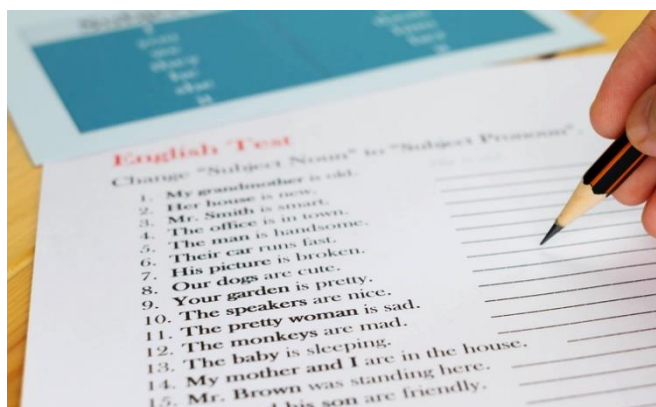
「英語を話そうとすると頭が真っ白になってしまう…」

「"I'm sorry! I can't speak English!" これが口ぐせ…」

こんな悩みに共感する方は多いのではないのでしょうか？

なぜか謝ってしまう、外国人相手だと緊張してしまうというのは、割と日本人特有の傾向だと私は感じてきました。

色々原因を追究していくと、その「自信の無さ」の根本には、やはり学校教育の時代に植え付けられた英語に対するイメージが強く残っているようです。



例えばテストのための英語勉強しかしたことが無ければ、「間違わないようにしよう」という方向にばかり注意が向くのは当然です。

また、「授業中に英語の例文を読み上げたら、発音を友達に笑われた」というような体験がある方もいらっしゃるようです。そういう経験を通して、英語を話すとき周りの目が気になったり、自意識が過剰になって恥ずかしくなって話せなくなる、という状態が起きてきます。

これを心理学の世界ではメンタルブロックと言ったりします。

英語ができないという方は、文法や単語を一生懸命勉強するよりもまず、自分自身のメンタルブロックに目を向けてみると良いでしょう。

文法や単語以前に、英語を話すことに対して、実際以上のハードルを感じていませんか？

もしそうだとしたら、その心の状態(=メンタルブロック)を解決しない限り、どんなに知識の勉強をしたところであまり変わらないかもしれません。

何よりもまず、心を変えることに集中してみることをおすすめします。

なぜなら、英語もコミュニケーションのツールである以上、英語力と心は一体だからです。

メンタルを変えるための一番良い方法は、プロのコーチにコーチングしてもらうことです。それも英語教育の現場で十分な経験を積み、コーチングの能力も身に着けたコーチから教わることです。

私は普段本格的に英語を教える場合にはコーチングにもとても力を入れているのですが、通常は周りにそういう存在がなかなかいないという場合も多いでしょう。

そう考えて、メンタルブロックを解消するコーチングとは実際どんな風に行うものなのか？

疑似体験して頂くために、レッスン1の中ではバーチャルコーチングというコーナーもやりましたね。

もしもう一度見る場合には以下の画像をクリックして下さい。



とても重要な内容ですので、何度見て頂いても損はありません。ぜひ繰り返し繰り返しご覧頂ければと思います。

理想は個別に話を聞きながらやることですが、このようなバーチャル形式でも、少しでも心の変化を感じて頂けることを願っています。

そして、心を変えるのと同時にもう一つ大事だとお伝えしたのが、このテキストのテーマである「グロービッシュを学ぶこと」です。

私自身、日本の英語教育に長年関心を持って研究してきていますので、よく日本の学校や色々なスクールでどんな英語教育をしているのか？調べます。

その中で常々疑わしく思うことがあります。それは、

「この先生たちは、生徒に英語を話して欲しくなくてわざわざ難しい英語を教えているのではないか？」

これ、冗談ではないのです。本当にそう思ってしまう。そのぐらい、無駄に難しく、複雑に英語を教えている学校は多いです。

例えば私が以前見た教科書で、こんな例文を見かけました。

【例文】

ヒー・イズ・ア・マン・フー・リヴズ・イン・マイ・ネイバーフット

He is a man who lives in my neighbourhood.

彼は私の近所に住んでいる男性です。

※話をスムーズに進める便宜上、フレーズにフリガナを振っていますが
普段の教育では行いません

この文章を見た時、私は正直、「ああ、これでは日本人はペーパーテストは良くてても、英語が話せるようにはならないはずだな」と妙に納得してしまいました。

この文章は、もちろん正しい文章です。1ミリも間違いではありません。

でも複雑すぎます。こんな言い方、日本語でもしないと思いませんか？例えばあなたが、近所に住んでいる男性を見かけたと想像してください。

この男性について、一緒にいる友達に話す場面です。

日本語なら、なんて言うでしょうか？

「彼はうちのご近所さんよ」



そんな風に言うのではないのでしょうか？

もし「彼は私の近所に住んでいる男性よ」と言ったら、それでも通じますが、ちょっと変だなと思われるはずです。

英語でも同じです。もっとシンプルに言う方法があるし、そのほうが自然なのに、なぜその言い方を教えないのでしょうか？

【例文】

ヒー・イズ・マイ・ネイバー

He is my neighbour.

彼は私のご近所さんです。

※話をスムーズに進める便宜上、フレーズにフリガナを振っていますが
普段の教育では行いません

これで十分です。

さっきの例文だと9語必要でしたが、このようなシンプル英語なら4語で済みます。はるかに言いやすいですね？

こんなにシンプルで大丈夫なのか、心配になりますか？

断言しておきます。絶対に大丈夫です。というより、むしろこの方が自然にこなれて聞こえます。

私が教えてきているのは、こういうシンプル英語なのです。

全部のフレーズが言いやすいのです。言いやすいからすぐに使えますし、ネイティブが聴いても自然でこなれて聞こえるのです。

シンプルにできることを、わざわざ複雑に学ぶ必要は今後一切ありません。

レッスン1の中でもお話した通り、すでに英語はネイティブだけのものではなくなっています。

全世界で英語を話す人口のうち、ネイティブは15%に過ぎずあとの85%は非ネイティブなのです。



アメリカ人、イギリス人だけでなく、

オランダ人もドイツ人もスペイン人も、インド人もマレーシア人もシンガポール人も中国人も日本人も、英語を共通の言語として使ってコミュニケーションを取っているのが今の時代なのです。

英語はアメリカ人とイギリス人の母国語から、世界の共通言語へと進化しているのです。

この流れを理解して、ネイティブのように話すことにこだわりすぎずに、自分たちの英語を堂々と話してコミュニケーションを取っていこうという教育にシフトしている国々は、英語の上達が早いです。

同じアジアの国でもマレーシアなどは、英語を公用語とするシンガポールが近いという事もありますが、たまに仕事で言っても英語が流暢な人が多いなと感じます。



彼らは誰が相手でも臆せずコミュニケーションを取ってきます。こういう人たちは、これからの世界では強いですね。

日本でもようやく最近になってグロービッシュが書籍や雑誌などで取り上げられ始めましたが・・・



まだまだ学校や英会話スクールでは、ネイティブだというだけで教育に関しては素人の先生や、教育学部を卒業した先生たちが、50年以上も変化していない古い教育指導要領にしたがって複雑で遠回りな英語教育をしているという印象です。

それが私は、日本がいつまで経っても「英語が苦手な国」の汚名を返上できない大きな要因の一つではないかと考えています。

実際、グロービッシュベースのシンプル英語を教える私の生徒さんたちは、従来の教育では考えられないスピードで英会話が上達しています。

そういった経験から、私は確信しているのです。あなたも必ず、私の教える方法なら英語が楽しく話せるようになります。

グロービッシュは、単語数で言えばまず日本人が中学校までに学ぶ1500語で日常会話のすべての会話に対応できます。

日本でいう英検4級がテストをパスするのに必要な語彙力が1300語程度と言われますので、英検4級に受かれる程度の知識があれば旅行から日常会話、そしてビジネスまですべてカバーできてしまうということです。

英検4級というのは中学生が授業の中で受けさせられるレベルで合格率が80%もあるテストなのだそうですね。

ちなみにグロービッシュの単語数は「全部場面で」1500語であって、場面ごとに分ければもっと少ない単語数で目的を達成することができます。

旅行なら200語。これだけでいいのです。

仮にもう中学で学んだことなど忘れてしまっていて覚えていないという場合でも、安心してください。昔一度、中学校で学んだはずのことを思い出すステップから始めれば良いだけです。

そして思い出す方が、新たにゼロから学ぶ場合よりはるかに楽で早いことは言うまでもありません。

次のページから旅行で使う200語を実際に見てみてください。

空港	airport	空港
	airline	航空会社
	one-way ticket	片道チケット
	return ticket	帰りのチケット
	round trip ticket	往復チケット
	immigration	入国審査
	boarding pass	搭乗券
	boarding time	搭乗時間
	gate	ゲート
	passport	パスポート
	visa	ビザ
	Identification (ID)	身分証明証
	purpose	目的
	occupation	職業
	baggage / luggage	カバン、スーツケース
	carry on luggage / hand luggage	機内持ち込み手荷物
	customs	関税、税関
	declare	申告する
	inspection	保安検査
	dangerous	危険
	item	持ち物
	liquid	液体
	fragile	こわれ物
	Baggage Claim	手荷物受取所
	baggage claim tag	手荷物預かり証

	departure	出発
	arrival	到着
	exit	出口
	Domestic	国内線
	International	国際線
	Transfer / Connecting Flights	乗り継ぎ
	security check	手荷物検査
	on time	定刻通り
	delayed	遅延
	Toilets/ Restroom	トイレ
	lost and found	遺失物取扱所
	money	お金
	exchange	両替
	exchange rate	為替レート
飛行機	aisle seat	通路側席
	window seat	窓側席
	middle seat	真ん中席
	row	座席の列
	beef	牛肉
	chicken	鶏肉
	fish	魚
	beer	ビール (英語で発音はビア)
	red wine, white wine	赤ワイン、白ワイン

coffee	コーヒー
tea	紅茶
cold	寒い/冷たい
hot	暑い/熱い
blanket	毛布
pillow	枕
Occupied	(トイレなど)使用中
Vacant	(トイレなど)空き
take off	離陸
landing	着陸
electronic device	電子機器



入国審査	Full name	氏名
	First name	名
	Surname / Family name	姓
	Sex	性別
	Male	男
	Female	女
	Nationality	国籍
	Place and country of birth	出生地
	Date of birth	誕生日
	Passport number	パスポート番号
	Date of expiry	パスポート期限
	Place of issue	パスポート発行地
	Contry of residence	住んでいる国
	Flight Number / Flight No.	飛行機便名
	Occupation	職業
	Employee	社員
	Student	学生
	Housewife	主婦
	Purpose of visit	入国目的
	Business	仕事
	Holiday / sightseeing	休暇/観光
	How long	どれくらいの長さ
	Accommodations	宿泊先
	Hotel	ホテル

	Condominium / Condo	マンション
	Signature	署名、サイン
	Customs Declaration	税関申告
ホテル	front desk / reception	フロント
	Check in	チェックイン
	Check out	チェックアウト
	room	ルーム
	baggage	荷物
	reservation	予約
	key	鍵
	breakfast	朝食
	restaurant	レストラン
	wake-up call	モーニングコール
	Booking number	予約番号
	air conditioner	エアコン
	refrigerator	冷蔵庫
	safe box	金庫
	extra bed	追加ベット
	extra charge	追加料金
	outlet / plug / socket	コンセント
	staff	コンシェルジュ
	room service	ルームサービス
	cloak	荷物預かり所
	gentlemen / men	男性
	ladies /	女性

	women	
	MAKE UP ROOM	「部屋の掃除をお願いします」
	DO NOT DISTURB	「邪魔しないでください」
レストラン	full	満員
	table	テーブル
	dinner	夕食
	lunch	昼食
	to go/for here	テイクアウト/店内で食べる
	menu	メニュー
	lunch special	ランチメニュー
	set menu	コース料理



	appetizer / starter	前菜
	salad / greens dressed	サラダ (タレやドレッシングが)かかった
	soup	スープ
	plate / dish	小皿/大皿
	assorted	盛り合わせ
	seasoned	味付けした
	main dish / main course	メインディッシュ
	boiled	煮た、ゆでた
	grilled	グリルで焼いた、焼いた
	roasted	オーブンなどで焼く、炒める
	fried	油で焼いた、揚げた
	raw	生の
	side dish / sides / accompaniment s	サイドディッシュ
	desserts / sweets	デザート
	enough	十分です
	restroom	お手洗い
	bill / check	お会計
	credit card	クレジットカード
	cash	現金
	dress code	ドレスコード
	recommend / recommendation	お勧めする/おすすめ品

	local specialties	ご当地料理
	buffet	ブッフェ、バイキング
ショッピング/ 観光	information center	案内所
	admission / entrance fee	入場料
	ticket	チケット
	museum	美術館、博物館
	department store	デパート
	super market	スーパー
	guided tour	ガイドツアー
	caution / danger	注意/危険
	souvenir / gift	お土産
	plastic bag	ビニール袋
	discount	割引
	bus	バス
	taxi	タクシー
	trunk	トランク(車の)
	station	駅
	train	電車
	metro / subway	地下鉄
	taxi stand	タクシー乗り場
	bus stop	バス停
トラブル/ 病院	trouble	トラブル、問題
	help	助けて(手伝って)
	lost	物を失くした、道に迷った
	stolen	盗まれた

	pickpocket	スリ
	Police	警察
	wallet	財布
	reissue	再発行する
	Japanese embassy	日本大使館
	insurance	保険
	head	頭
	neck	首
	shoulder	肩
	chest	胸
	stomach	お腹、胃
	arm	腕



	leg	脚
	foot	足
	back	背中
	cold	風邪
	fever	熱
	cough	咳
	a runny nose	鼻水
	sick	病気、吐き気
	headache	頭痛
	sore muscles	筋肉痛
	a sore throat	喉の痛み
	painful	痛い
	itchy	かゆい
	allergies	アレルギー
サイズ/距離/ 数量	big / large	大きい
	medium	中間
	small	小さい
	long	長い
	short	短い
	many	たくさん(数えられる物)
	much	たくさん(数えられない物)
	few	少ない
よく使う動詞	go	行く
	get	得る、取る
	come	来る
	put	置く
	have	持っている、ある
	take	取って来る
	turn	向く、回る、曲がる

	give	あげる
	bring	持っていく
	make	作る
	think	考える
	hear / listen	聞く
	keep	保管
	stay	滞在する、いる
	try	やってみる、試す
よく使う指示語	this	これ
	it	それ
	that	あれ
	these	これら(複数の物を指す時)
	those	それら(複数の物を指す時)
	here	ここ
	there	そこ
	over there	あそこ
	what	何
	where	どこ
	how	どうやって
	can	～できる
	he / she	彼/彼女
	his / her	彼の/彼女の
	him / her	彼を、彼に/彼女を、彼女に
	they	彼ら(彼女ら)
	them	彼らを、彼らに (彼女らを、彼女らに)

いかがでしたか？「1つも見た単語がない」とは思わなかったのではないのでしょうか？

「あ、これ知ってる、これも知ってる。結構知ってる単語があるな」と思った方は多いのではないかと思います。

それもそのはず。なぜなら、あなたはすでに中学校でこれらの単語を全て学んだことがあるはずで、**カタカナ英語として普段の会話の中で使っている単語もたくさんある**からです。

要するに、あなたが今どんなに英語に関して苦手意識があったとしても、あなたは目標を達成するために必要な知識を、実は、「すでに記憶の中に持っている」という事なのです。

ただ**今まで知識の「使い方」を知らなかっただけ**なのです。

それでは「使い方」はどうやって練習して行けば良いのか？それがまさにイングリッシュブレイクスルーを通して私が教えたいところなのです。

レッスン2ではシンプルなフレーズを使って、口から英語がどんどん飛び出してくるようになる一人でスキマ時間にできる英語練習法を教えます。楽しみにしておいてください。

引き続き一緒に英語を楽しみながら学んでいきましょう。

Let's speak out!
サチン・チョードリー